

令和2年度事業報告書概要（葛西海浜公園）

指定管理者：公益財団法人東京都公園協会

1 管理状況
<p>○ 適切な管理の履行</p> <ul style="list-style-type: none">・ 園地管理 砂の流失に伴い露出した岩・ガラ等を適時撤去し、浜辺の安全性を保った。・ 樹木管理 大きくなりすぎたトベラ等を適時剪定、枯れ枝を撤去し、岩場の転倒を防ぐため実生木やハマゴウの枝を適時撤去して安全性を保った。・ 規制業務 立ち入り禁止エリアへの侵入や水路での安全運航等に違反があれば、直ちに園内放送または職員が急行し車のマイクでアナウンスを流すなど注意を行った。・ 利用者調整 希少な野鳥の保護と多様な海辺のレクリエーションを両立するため、スポーツカイトの愛好者や野鳥の会、生態教育センター、野鳥愛好家等と意見交換を行った上で、葛西海浜公園に生息するコアジサシやシロチドリ、ヒバリなどの繁殖のために保護区を設定した。
<p>○ 安全性の確保</p> <ul style="list-style-type: none">・ 緊急時対応 公園協会「震災対応マニュアル」に基づく対応について、勤務時間内、夜間参集、早朝参集震災対応訓練や津波対応訓練を葛西臨海公園と連携して実施し、災害発生に備えた。・ 安心して利用できる環境形成 水遊び体験時には開園前清掃を毎日実施し、来園者の方々が安心して楽しめる美しいなぎさの維持に努めた。また、海の安全対策としてアカエイ・クラゲ駆除、瓦礫や岩の撤去を行った。

2 事業効果

○ 事業の取組

・ 自然環境の観察・学習イベント

葛西海浜公園の豊かな自然を体験し、ラムサール条約湿地登録の周知をはかるため野鳥の保護活動、浜辺の観察会、魚類観察、野鳥の観察会、探検ツアーや海洋研究者をお招きした講演会を実施し、公園の愛好者や支援者の増加を図った。

・ 海苔すき体験

西なぎさでの冬季においては浅草海苔の養殖を行い、育てた海苔を利用した海苔すき体験を実施した。新型コロナウイルス感染対策のため試食等はできなかったが、葛西の海の文化を次世代につなげる貴重な機会とすることができた。

・ おもてなし花壇

西なぎさ入り口に造成し、春夏・秋冬の花を植え景観の向上を図った。

・ 小さな水族園

西なぎさ案内所前にて葛西の海に生息する魚介類の生体展示を行い、職員が適時解説することで家族づれの来園者を中心に喜んでもらうことができた。

・ 貴重な野鳥の情報発信

クワツラヘラサギなどが観察できる時期にはその生物に特化したセルフガイドツールや缶バッジを制作し配布を行った。



<おもてなし花壇>



<小さな水族園>



<缶バッジの配布>

○ 利用の状況

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ゴールデンウィークを含む令和2年4月11日～5月25日の期間で閉園となったほか、開催自粛となるイベントも複数あったことから、年間の来園者数は減少となった。しかし、開園後は来園者数が回復し、以降も継続して増加傾向にあった。

○ 行政目的の達成

・ 新型コロナウイルス感染対策

東京都の方針に従い、一時閉園やB B Q施設の利用中止、各種イベントの中止など、関係団体と協議等を行い迅速かつスムーズに実施した。また、石鹸・消毒液の設置やイベント時等の検温、ソーシャルディスタンスの確保を実施し、同時に告知ポスターの掲出や占用、団体利用時等の注意喚起、園内放送や自動音声機による注意喚起を行い感染拡大の防止に努めた。

3 収支状況（単位：千円）		
項目		金額（税込）
収入計		106,254
内訳	指定管理料	106,254
	利用料金	0
支出計		106,117
収支差		137

※ 単位未満を四捨五入しているため、合計と一致しない場合があります。